

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年八月度 入選句（投稿総数千九百六十四句・小中学投句数千四百十七句）

特選

選者 高木 恵理

屋上でたまやとさけび大花火 大垣市 土屋 遼人(小四)

夏の風物詩である花火。今年は新型コロナウイルスのため、いくつかの花火大会が中止となりましたね。そんな中、願いを込めていくつかの花火が打ちあがりました。花火には、鎮魂の意味もあります。きつと作者もいろいろな願いをこめて元氣いっぱい「たまや」と叫んだでしょう。大きな花火がみんなの未来を明るく照らしているようです。

あさがおがきょうもさいたよあかとあお 大垣市 とみた まお(小二)

学校で育てている朝顔は何色でしょうか。赤色かな？青色は自分で育てた朝顔かな？きつと作者は、朝顔は好きなのでしょうね。毎日、花の色や数を観察しているのでしょう。さわやかな朝顔が、今日も一日元気にしてくれそうです。さらに、「あさがお」の「あ」、「あか」の「あ」、「あお」の「あ」。この繰り返し返しの母音が読んでいて心地のよい俳句です。

かたつむりあめにきづいておでかけだ 大垣市 小山 琉生(小二)

雨の大好きなかたつむり。雨がふるとおでかけ。でも、晴れの日はお家でのんびりしているのかな。「あめにきづいて」という言葉が、時間の経過を感じさせます。のんびりとしたかたつむりも、雨となると急ぐのでしょうか。それともやはり、のんびりでかけるのでしょうか。かたつむりの目線に立った心優しい俳句です。

秀逸

夏の海きらきらしてるとびこむぞ 大垣市 生田 兼進(小四)

かたつむり目をさわったらしぼんでく 大垣市 白澤 勇人(小四)

カタツムリ葉っぱのはしでいき止まり 大垣市 金森 華穂(小五)

かたつむりお花の中であまやどり 大垣市 不破 寧音(小五)

せみかごとんとつつかとせみがなく 大垣市 奥田 瑛斗(小五)

せん風機声をふるわせあいうえお 大垣市 勝嶋 大和(小六)

すいかわりぼうをふったら大当たり 大垣市 野村 一颯(小六)

すいかわりみぎだひだりだみなさけぶ 大垣市 わたなべ ゆいと(小二)

弟のぼうず頭に光るあせ 大垣市 原 志 織(小四)

火花ちるせんこう花火風ふくな 大垣市 かわぞえ さくや(小四)

入選

かたつむりさわるといえににげこむよ 大垣市 日比 麻鈴(小四)
 ヘチマがねこえたよぼくの身長を 大垣市 ありお ゆうき(小四)
 風鈴の音色を聞いて外を見る 大垣市 山田 祐鈴(小六)
 かき氷ブルーハワイと青い空 大垣市 川瀬 心晴(小六)
 おねがいをかなえてくださいあまの川 大垣市 今津 明彩(小六)
 迎え火にじいちゃんのを思い出す 加茂郡川辺町 馬場 隆史(中三)
 金魚すくい紙破れたり敗れたり 加茂郡川辺町 吉田 知城(中三)
 夕立後キラリと光る水たまり 加茂郡川辺町 山下 真彩(中三)
 あめがすきによきによきめだまかたつむり 大垣市 しみず こうき(小二)
 ふろあがりかぞくでみてるなつのつき 大垣市 おおにし まう(小二)

入選

まっかつかぼくのトマトが日本一 大垣市 伊藤 晟冨(小二)
 工場が小さく見えて山のぼり 大垣市 高山 結衣(小四)
 ふろのかべするするのぼるやもりいる 大垣市 伊藤 百花(小四)
 シロップの味にまよってかき氷 大垣市 中村 瑚乃羽(小四)
 友達にかけてかけられ水鉄ぼう 大垣市 伊藤 慶(小四)
 大波にゆられてつれて初がつお 大垣市 松岡 煌斗(小四)
 ひまわりのしん長のびていつてきます 大垣市 北島 圭悟(小二)
 夏の日に地面に映るかげをふむ 大垣市 脇淵 新(小六)
 せんぷうき私のなやみふきとばせ 大垣市 三宅 虹瑚(小六)
 ほたるがりまるでお空の星のよう 大垣市 村若 拓真(小四)

選者吟

七夕や神島行きの船に乗り

恵理